

輸入者の皆様へ

納税にはダイレクト方式（NACCS オンライン・リアルタイム口座振替方式）のご利用を！

関税・消費税等について、迅速かつスムーズな電子納付が可能となり、輸入（航空・海上）貨物のスピーディーな引取りが実現できます。

平成 20 年 10 月の Sea-NACCS 更改において、国税等の納付手続きについてダイレクト方式が導入され、輸入者（納税義務者）の一般口座から**関税・内国消費税**及び**地方消費税、とん税、特別とん税**をリアルタイムに振り替えることが可能となりました。

Air-NACCS についても、平成 22 年 2 月の更改から利用可能となりました。



ダイレクト方式のメリット

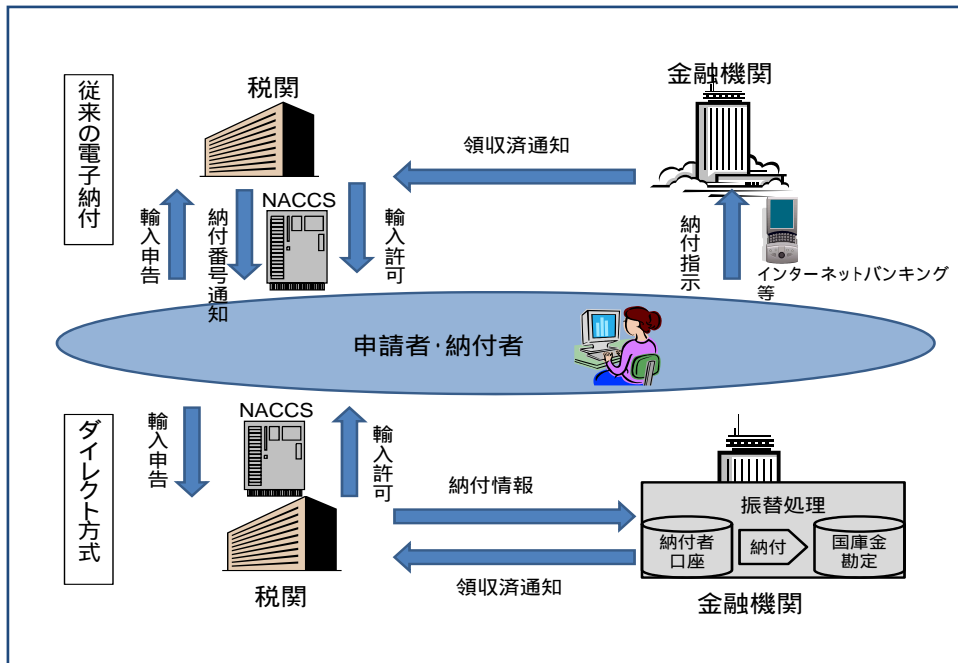
1. NACCS 専用口座を開設する必要がなく、お手持ちの一般口座から関税・消費税等を振り替えることができます。
2. 自動的に関税・消費税等の納付手続きが行われるため、インターネットバンキング等を利用する現行の電子納付のように、申告の都度、納付指示を行う必要がなく、貨物の早期引き取りができます。
3. ダイレクト方式の口座振替契約を行った場合でも、輸入（納税）申告の際に納付方式を選択できるので、申告の都度、最も都合の良い納付方式を選ぶことができます。
4. 口座不足になった場合でも、一般口座を利用するため、口座残高の積み増しを行えば直ちに納付可能になります。

留意点

1. 納付に伴う領収証書は発行されません。
税務調査において「輸入許可等通知情報」、「修正申告控+リアルタイム口座支払完了通知情報」が納税証明になります。
2. 関税・消費税等の納期限延長を行う場合には、ダイレクト方式は利用できません。
3. 現在、NACCS 専用口座としてご利用中の口座をダイレクト方式用口座として併用することはできません。



(社)日本通関業連合会・通関業会



ダイレクト方式のご利用方法

輸入（納税）申告者（通関業者を含む。）は、NACCS により輸入申告する際に、申告事項の納付方式識別欄に「R」を入力し、口座番号欄にあらかじめ指定した口座番号を入力します。

の輸入（納税）申告がなされた場合、NACCS から金融機関へ納付情報（口座番号や納税額等）が送信されます。納付情報を受けた金融機関は、納税額についてあらかじめ指定された納税者の口座から国庫金勘定への振替処理を行います。これにより納税者は関税・消費税等の納付を行ったこととなります。納付が行われた場合、領収済通知情報が金融機関から NACCS へ送信されます。金融機関からの領収済通知情報に基づき NACCS で領収、収納等の処理を行い、輸入（納税）申告者に対し輸入許可通知書を出力します。



ご利用までの流れ

1. 利用申込書（三者間契約書）の入手と記入
三者間契約書のblankホームを輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社（以下「NACCS センター」という。）のホームページからダウンロードし、記載要領に基づき必要事項を記入します。
2. NACCS センターへの提出
記入済の契約書のうち「金融機関控」及び「輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社控」の2片を NACCS センター業務部に送付します。
〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地 ソリッドスクエア西館 8 階
輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社
業務部 業務総括課宛（電話 044-520-6263）
3. NACCS センターからの通知と利用開始
NACCS センター及び金融機関のチェックを経て、申込者に「登録完了のお知らせ」が送付（郵送）されて来たら、ご利用が可能となります。金融機関によっても異なりますが、通常、申込から 2~4 週間かかります。

ご利用になれる金融機関

三井住友銀行、三菱東京 UFJ 銀行、みずほ銀行、京都銀行、愛知銀行、名古屋銀行、足利銀行、百五銀行、福岡銀行、広島銀行、熊本ファミリー銀行、千葉銀行、常陽銀行、八十二銀行、十六銀行、静岡銀行、琉球銀行
利用金融機関については、今後更に増加するものと見込まれます。

ご利用時間帯

マルチペイメントネットワークの定期休止時間及びご利用金融機関のシステムのメンテナンス時間帯を除いて、365 日 24 時間のサービス提供が行われます。

ご利用の手続、金融機関、ご利用時間帯についての詳しいことは、輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社のホームページ (<http://www.naccs.jp/unkyou/jikisystem/20081008/20081008.html>) でご確認ください。